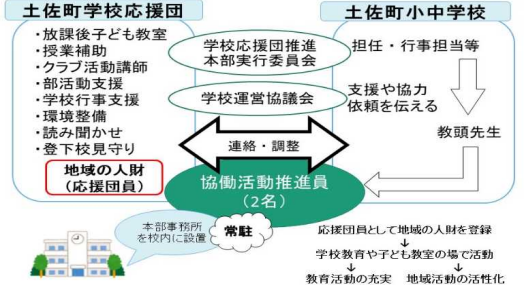


こんな活動です

みんなで育てる町の宝 —できる時に、できる人が、できる事を—

高知県土佐町		●活動名 土佐町学校応援団推進本部		●関係する学校名 土佐町立土佐町小学校 土佐町立土佐町中学校	
協働活動開始年度	平成 21 年度	関係学校数	2 校	のべ学級数	14 学級
				のべ児童・生徒数	231 人
活動区分	学校支援活動		—		—
	—		放課後子供教室		—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	
	—		2人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無
	平成25年4月1日設置		183人		
参考URL	http://www.town.tosa.kochi.jp/publics/index/106/				
●連絡先	土佐町教育委員会事務局		☎ 0887-82-0483		

●体制図



●活動の概要・経緯
土佐町学校応援団推進本部は、地域の学校、地域の子供を大切にしたいという想いから発足し、“できる時に、できる人が、できる事を”をモットーに、学校内に専用事務所を設置し、地域人財を応援団員として登録、協力を得て、学校だけでなく地域ぐるみで子供を育て見守る活動を行っている。土佐町学校応援団推進本部実行委員会を設置し、学校教育への支援及び放課後子供教室の実施について定期的に協議を行い、地域学校協働活動推進員を配置する事で多くの地域住民が参画できる体制づくりに取り組んでいる。
また、地域住民が子供たちと一緒に通常授業を受けることができる生涯学習学校を開校し、子供たちへの多様な学びと体験の提供のみでなく、地域住民への生涯学習の場としての役割も担っている。

●活動の特徴・工夫

- 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】
- ①放課後及び学校休業日での放課後子供教室において、多様な体験型学習活動を企画することで充実した放課後活動を展開する。
 - ②郷土愛を育むことを目的に、地域の特産食材を活用した料理教室を行う食育活動の取り組み。
 - ③廃校を活用し、地域の高齢者と物作り等を通じた交流や川遊び、アメゴのつかみ取りなど非日常的な体験活動ができるサマースクールの実施。
 - ④地域の高校生の参画による学習支援の実施。
 - ⑤民生児童委員との定期的な情報交換と連携による見守り体制づくり。
 - ⑥地域学校協働活動推進員が学校運営協議会委員を兼務することで、情報共有と連携を図る。

【実施に当たっての工夫】
協働活動推進員がキーパーソンとなり、校内に設置した専用事務所で活動することで、効率的に地域と学校が連携、協働することができ、多様な学校教育活動への支援や提案を行える。
学校支援については、学校と協働活動推進員、支援を行う応援団員が支援体制や方法等十分に協議し、質の高い学校教育活動へと繋げる。
町の広報紙への掲載や毎月の「学校応援団だより」を発行することで、応援団員や保護者に対して協力依頼や報告など広報活動を積極的に実施している。
町内の他組織へ呼びかけ協力依頼を行うことで、幅広い住民に活動を知ってもらい、地域人財の確保に繋げている。
民生児童委員と連携することで、登下校等の見守り活動の強化を図っている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校内に専用事務所があることで地域学校協働活動推進員は学校のニーズの把握や教職員との連携をスムーズに行えることにより、地域教育等の授業を行う際は希望にかなった地域人財を紹介してもらい授業内容の充実が図れた。常に大勢の地域住民との関わりを通じて、コミュニケーション能力の向上に繋がるとともに社会性を学ぶ機会となっている。保護者から日頃家庭ではできない体験が放課後子供教室で受けることができ、学校外でも充実した教育活動の機会が有難いという声があった。また、学校応援団員として、自らの経験や特技を子供たちに教えることで、自己存在感が高まり、生きがいを追求する地域の方も増え、町全体の雰囲気明るくなるとともに継続的な事業の実施に繋がっている。また、子供たちの学習指導にあたることで、地域住民にとっても学び直しの機会となった。

●その他

放課後子供教室(夏休み期間中)では、廃校を活用し、地域高齢者と交流やアウトドアアクティビティに取り組んでいます。応援団として食生活改善推進協議会のメンバーの協力を得て、食育学習と郷土愛を育む取り組みに取り組んでいます。



地域の特産“れいほく八菜”を使ったピザ作り



サマースクールでのアメゴつかみ取り